

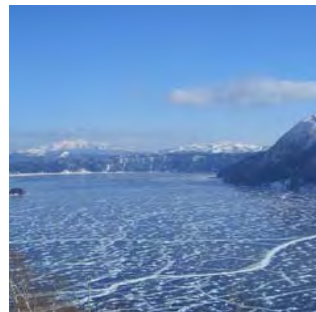
平成20年度 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ ルート活動報告



釧路湿原エリア



阿寒湖エリア



弟子屈エリア



中標津エリア

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成19年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: ルート運営代表者会議 会長 桐木茂雄	報告年月: 2009/3/31
-----------------------------	-------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括	
1 地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり <知る・活かす>	①まちを知る・人を知る	1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カフェ営業: 通年(一部冬期休業)、スタンパラリー実施: 8月25日-10月31日、カフェミーティング実施: 5月12日、12月10日	30人	KU-1	○地域を知る・活かす(自然・景観・産業) 毎年恒例となっている沿道花壇への植栽、各種情報発信のほか、シーニックの森参加に向け「既存植樹活動への協力」を行った。また、道東ウォーキングツーリズム検討では、中標津エリアが中心となり、既存のフットパス等の散歩道のネットワークづくり、独自の市街地ウォーキングルート検討を行っている。「歩く」という新たな滞在型観光を顕在化するために、非常に有益な活動を行った。また、「温泉を知る・活かす」においては、シーニックカフェ内にある足湯のみの活動である。阿寒温泉や川湯温泉、摩周温泉等、本ルートには多彩な温泉資源があり、今後の活動展開を検討する必要がある。	
		★2	既存植樹活動への協力	北海道、弟子屈町、釧路ロータリークラブ	平成20年5月17日、5月25日、5月28日	3040人			
		3	沿道花壇への植栽	阿寒町花いっぱい運動推進協議会、阿寒湖温泉連合町内会、NPO法人阿寒観光協会まちづくり機構、弟子屈町自治会連合会、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、中標津町観光協会、株式会社日専連中標津 青年会、標茶町紅毛商店町内会	平成20年6月6日、6月15日、6月21日、6月24日、6月25日	1433人			
		4	ルートマガジンの発行(年2回)	情報広報部会	年2回発行	各5000部			
		5	ルートHPを活用した全国的一般ユーザーとの双方向交流	情報広報部会	通年	月間平均6000アクセス	KU-2		
	②自然環境を知る・活かす	6	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃」	ボランティアネットワークチャレンジ隊	平成20年6月29日	52人	KU-4		
		7	道東ウォーキングツーリズム推進検討	中標津町商工会青年部	ウォーキングイベントの企画検討6月22日、フットパス先達事例調査7月27日-10月25日、検討会2月9日-2月19日	15人	KU-3		
		★2	既存植樹活動への協力	北海道、弟子屈町、釧路ロータリークラブ	平成20年5月17日、5月25日、5月28日	3040人			
	③景勝地や景観ポイントを見つける・活かす	★8	弟子屈滝探検・摩周岳登山	ルート運営委員会	平成20年10月11日、10月19日	7人			
		④温泉を知る・活かす	1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)-シーニックカフェ「Home Sweet Home」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ホームスイートホーム	平成20年4月28日～11月3日	月100人		KU-1
	1		シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)-シーニックカフェ「Pan de Pan」	パン・デ・パン	通年	月150人	KU-1		
⑤体験活動を知る・活かす	6	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃」	ボランティアネットワークチャレンジ隊	平成20年6月29日	52人	KU-4			
	7	道東ウォーキングツーリズム推進検討	中標津町商工会青年部	ウォーキングイベントの企画検討6月22日、フットパス先達事例調査7月27日-10月25日、検討会2月9日-2月19日	15人				
2)食を知る・活かす	①地場産品を知る・伝える	1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カフェ営業: 通年(一部冬期休業)、スタンパラリー実施: 8月25日-10月31日、カフェミーティング実施: 5月12日、12月10日	30人	KU-1		
		9	シーニックカフェ開陽台牧場2008	中標津町商工会青年部	平成20年7月24日～27日	600人			
		1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)-シーニックカフェ「Home Sweet Home」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ホームスイートホーム	平成20年4月28日～11月3日	月100人	KU-1		
		1	シーニックカフェ「Pan de Pan」	パン・デ・パン	通年	月150人	KU-1		
		1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)-シーニックカフェ「レイクスバたかだ」	シーニックカフェ「レイクスバたかだ」	通年	月100人	KU-1		
		1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)-シーニックカフェ「ジェラートシレットコ」	シーニックカフェ「ジェラートシレットコ」、中標津町商工会青年部	通年	2000人	KU-1		
		1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)-シーニックカフェ「カフェカヨウダイ」	シーニックカフェ「カフェカヨウダイ」、中標津町商工会青年部	平成20年4月28日～10月31日	2500人	KU-1		
	②新たな地域食材を知る・活かす(道東の新たな食文化づくり)	10	摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験連動企画「シーニックカフェ摩周」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成20年8月25日～9月7日	800人			
	①地域の各種文化を知る・活かす	10	摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験連動企画「懐かシーニックパネル展」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成20年8月25日～9月7日	300人			
		11	懐かシーニックパネル展inパン・デ・パン	パン・デ・パン	平成21年2月1日～28日	150人			
10		摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験連動企画「懐かシーニックパネル展」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成20年8月25日～9月7日	300人				
②地域の歴史を知る・活かす	11	懐かシーニックパネル展inパン・デ・パン	パン・デ・パン	平成21年2月1日～28日	150人				

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括		
2 個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ、整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり ＜整える・つなぐ＞	1)地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	①沿道景観を整える	6	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「阿寒湖エリア・幸運の森商店街清掃」	NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構	平成20年4月24日	50人	KU-4	<p>〇地域と資源を繋ぐ“道(沿道景観)”を整える</p> <p>・毎年恒例となっているリレー清掃であるが、本年度からは釧路湿原エリアでの開催もあり、4エリア全てのリレー清掃が実施された。単に沿道景観を整えるだけの目的ではなく、相互に協力し連携しあうことで、エリア間でのコミュニケーションに繋がっており、活動メンバーの精神的な繋がりを強くしている。</p> <p>・シーニックカフェでは、沿道景観に配慮した「花と緑のサイン」の製作検討が行われた。これは、カフェ統一のサインを設ける事によるシーニックカフェのブランド化に向けた第一段階でもあり、自然に配慮したサインの提案ともいえるものであり、今後のルート活動における影響は大きいだろう。</p> <p>〇物語のあるみちをつくる</p> <p>・摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験では、摩周湖へのマイカー乗り入れを規制し、シャトルバスにより観光客をご案内した。バス内では、弟子屈町民のボランティアガイドが、弟子屈の成り立ちやアイヌの歴史文化について、観光客にご案内し、地域に対する理解を深めた。</p> <p>・また、中標津エリアが中心となり実施している「道東オーキングツーリズム推進検討」では、地域の歴史文化に配慮した市街地ウォーキングづくりが行われている。</p> <p>〇観光客を受け入れる環境を整える</p> <p>・シーニックカフェルート連携実施が該当する。ルート内の5つの既存店舗が連携し、定期的ミーティングを開催しながら、観光客の視点に立ち、自分達に何ができるかを検討し、実行に移している。今後、シーニックカフェで蓄積されたおもてなしのノウハウを、ルート内の他飲食店に波及させていくが課題である。</p> <p>〇地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する</p> <p>・各エリアでのモデルルート検討会では、エリア内での一泊二日の滞在ルートの検討とそれに必要な検討事項の整理が行われた。最終的に、ルート内での二泊三日の周遊ルート作成を行った。今後は、観光インフラの整備や情報発信手法の検討など、検討結果を様々な活動へ繋げていきたい。</p> <p>〇各種情報を伝える・蓄える</p> <p>・HPやルートマガジンによる情報発信に加え、シーニックカフェにおいては、シーニックおもてなしブックの試行が行われた。これは、観光案内の虎の巻であり、カフェスタッフが、観光案内を行う際に使用するものである。カフェスタッフの教育にも活用され、単に観光案内だけでなく、今後は色々な使い方が考えられ、ルート全体のホスピタリティ向上へ繋げていきたい。</p> <p>・また、「道東3空港を活用した地域活性化検討委員会」では、ひがし北海道3空港の連携強化と今後の活性化策の検討がおこなわれ、連携イベントとして、釧路空港・女満別空港・根室中標津空港において、活性化イベントが行われた。ルートとしては、委員会メンバーとしての参加であったが、今後もこういった広域的な事業に積極的に参加し、シーニックハイウェイの利点を活かしていきたい。</p>	
			6	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「弟子屈エリア 摩周湖グリーンウォーク2008」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、ボランティアネットワーク・チャレンジ隊	平成20年6月7日	200人	KU-4		
			6	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃・道東ウォーキングツーリズム推進検討「中標津エリア シーニックグリーンウォーク」	中標津町商工会青年部、中標津町商工会女性部、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ボランティアネットワーク・チャレンジ隊	平成20年6月22日	30人	KU-3・4		
			6	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃」	ボランティアネットワーク・チャレンジ隊	平成20年6月29日	52人	KU-4		
			1	シーニックカフェルート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)-沿道景観に配慮した「花と緑のサイン」の製作	シーニックカフェ5店舗(Pan de Pan、レイクス/パノカ、Home Sweet Home、ジェラートシレット、カフェカイロウイ、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会)	カフェミーティング実施:5/12、12/10	11人	KU-1		
		12	沿道花壇への補栽	阿寒町花いっぱい運動推進協議会、阿寒湖温泉連合町内会、NPO法人阿寒観光協会まちづくり機構、弟子屈町自治会連合会、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、中標津町商工会女性部、株式会社日専連中標津 青年会、標榜町別荘市街町内会	平成20年6月6日、6月15日、6月21日、6月24日、6月25日	1433人				
		②物語のあるみちをつくる		10	摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験	摩周屈斜路観光実験協議会(弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町)	平成20年8月25日～9月7日	6000人		
		2)観光客を受け入れる環境を整える		7	道東ウォーキングツーリズム推進検討	中標津町商工会青年部	ウォーキングイベントの企画日6月22日、フットパス先達事例調査7月27日・10月25日、検討会2月9日・2月19日	15人		KU-3
		3)地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	①おもてなしの質を整える	1	シーニックカフェルート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カフェ営業: 通年(一部冬期休業)、スタンパブリー実施: 8月25日・10月31日、カフェミーティング実施: 5月12日、12月10日	30人		KU-1
				1	シーニックカフェルート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カフェ営業: 通年(一部冬期休業)、スタンパブリー実施: 8月25日・10月31日、カフェミーティング実施: 5月12日、12月10日	30人		KU-1
	②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供		9	シーニックカフェ開陽台牧場2008	中標津町商工会青年部	平成20年7月24日～27日	600人			
			1	シーニックカフェルート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カフェ営業: 通年(一部冬期休業)、スタンパブリー実施: 8月25日・10月31日、カフェミーティング実施: 5月12日、12月10日	30人	KU-1		
			1	シーニックカフェルート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カフェ営業: 通年(一部冬期休業)、スタンパブリー実施: 8月25日・10月31日、カフェミーティング実施: 5月12日、12月10日	30人	KU-1		
			7	道東ウォーキングツーリズム推進検討	中標津町商工会青年部	ウォーキングイベントの企画日6月22日、フットパス先達事例調査7月27日・10月25日、検討会2月9日・2月19日	15人	KU-3		
			★13	釧路湿原エリア検討会(モデルルート検討)	釧路湿原エリア・ルート運営委員会	平成21年2月12日	6人			
			★14	弟子屈エリア検討会(モデルルート検討)	弟子屈エリア・ルート運営委員会	平成21年2月19日	13人			
			★15	阿寒湖エリア検討会(モデルルート検討)	阿寒湖エリア・ルート運営委員会	平成21年2月20日	9人			
			★16	中標津エリア検討会(モデルルート検討)	中標津エリア・ルート運営委員会	平成21年2月9日・20日	9人			
	★17	2泊3日滞在ルート検討	ルート運営委員会・各エリア	平成21年3月10日	18人					
	4)各種情報を伝える・蓄える	①HP・各種広報誌等による情報提供	4	ルートマガジンの発行(年2回)	ボランティアネットワーク・チャレンジ隊、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、NPO法人阿寒観光協会まちづくり機構、(株)阿寒ネイチャーセンター、グリーンウォーク実行委員会、シーニックカフェ5店舗(Pan de Pan、レイクス/パノカ、Home Sweet Home、ジェラートシレット、カフェカイロウイ)	年2回発行	各5000部			
5			ルートHPを活用した全国的一般ユーザーとの双方向交流	情報広報部会	通年	月間平均6000アクセス	KU-2			
18			ルートHP内フォトライブラリーの運営	ボランティアネットワーク・チャレンジ隊	通年	月間平均6000アクセス				
19			英語版ルートHPの運営	ボランティアネットワーク・チャレンジ隊	通年	月間平均6000アクセス				

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括	
2 個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり ＜整える・つなぐ＞	4)各種情報を伝える・蓄える	②観光案内施設等による情報提供	1	シーニックカフェルート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カフェ営業: 逢年(一部冬期休業)、スタンブラリー実施: 8月25日-10月31日、カフェミーティング実施: 5月12日、12月10日	30人	KU-1	
			★20	道東3空港を活用した地域活性化策検討委員会	道東3空港を活用した地域活性化策検討委員会(事務局 国土交通省航空局)	会議: 平成21年2月21日 3空港連携イベント: 平成21年2月20日～22日	36人		
		③各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	10	摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験運動企画「シーニックカフェ摩周」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成20年8月25日～9月7日	800人		
			4	ルートマガジンの発行(年2回)	ボランティアネットワーク・チャレンジ隊、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、NPO法人環境情報発信会をめぐり環境、(株)朝妻ネイチャーセンター、グリーンワーク実行委員会、シーニックカフェ5店舗(Pan de Pan、レイクスバたかだ、Home Sweet Home、ジラートシムトウ、カフカイイロクイ)	年2回発行	各5000部		
			5	ルートHPを活用した全国の一般ユーザーとの双方向交流	情報広報部会	通年	月間平均 6000アクセス	KU-2	
			18	ルートHP内フォトライブラリーの運営	ボランティアネットワーク・チャレンジ隊	通年	月間平均 6000アクセス		
3 地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり ＜創る・育てる＞	1)自然と共に生きる意識を育てる	①地域(こども達)への環境教育	6	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃」	ボランティアネットワークチャレンジ隊	平成20年6月29日	52人	KU-4	○自然と共に生きる意識を育てる ・釧路湿原音探検&清掃では、小型集音機を使って、湿原を音から楽しみながら、子ども達に対する環境教育が行われた。 ・また、摩周ウインターフェスタ2009においても、親子共同による雪像作りコンテストなどが行われ、寒い冬を楽しむイベントが開催された。 ・来訪者(観光客)へのインタープリテーションにおいては、摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験では、地域住民(ボランティアガイド)から、観光客に対して、弟子屈の歴史や成り立ちなどについての説明があった。道東ウォーキングツーリズム推進検討についても、中標津エリアの歴史や自然を配慮したウォーキングルートづくりが進められている。
			21	摩周ウインターフェスタ2009	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成21年2月14～15日	2000人		
		②来訪者(観光客)へのインタープリテーション	10	摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験	摩周屈斜路社実験隊(弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町)	平成20年8月25日～9月7日	6000人		
	7		道東ウォーキングツーリズム推進検討	中標津町商工会青年部	ウォーキングイベントの企画試行月22日、フットバス先導事例調査7月27日・10月25日、検討会2月9日・2月19日	15人	KU-3		
	2)自然を保全・活用する仕組みを創る	①自然を守るルールをつくる	10	摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成20年8月25日～9月7日	6000人		
			★2	既存植樹活動への協力	ボランティアネットワーク・チャレンジ隊、弟子屈町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部	平成20年5月17日、5月25日、5月28日	3040人		
		②自然を保護・育成する仕組みをつくる	1	シーニックカフェルート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)～シーニックカフェ「Home Sweet Home」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ホームスイートホーム	平成20年4月28日～11月3日	月100人	KU-1	
	3)循環型社会のビジネスモデルを育てる	①コミュニティビジネスを育てる	1	シーニックカフェルート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カフェ営業: 逢年(一部冬期休業)、スタンブラリー実施: 8月25日-10月31日、カフェミーティング実施: 5月12日、12月10日	30人	KU-1	
			5	ルートHPを活用した全国の一般ユーザーとの双方向交流	情報広報部会	通年	月間平均 6000アクセス	KU-2	
		②地域経済循環の仕組みを創る	1	シーニックカフェルート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カフェ営業: 逢年(一部冬期休業)、スタンブラリー実施: 8月25日-10月31日、カフェミーティング実施: 5月12日、12月10日	30人	KU-1	
7			道東ウォーキングツーリズム推進検討	中標津町商工会青年部	ウォーキングイベントの企画試行月22日、フットバス先導事例調査7月27日・10月25日、検討会2月9日・2月19日	15人	KU-3		

※表中“★”はH20新規活動

シーニックカフェ連携（地域のおもてなし“拠点”づくり）

【概要】ルート内の既存飲食店を活用したシーニックカフェでは、シーニック情報、地域情報、観光案内などを積極的に行う「地域のおもてなし“拠点”づくり」を行っている。カフェスタッフミーティングを実施し訪問者の視点で、私たち（地域住民）が出来るおもてなしを検討している。今年度は、検討結果を踏まえて「カフェマップの発行」「カフェスタンプラリーの開催」「シーニックおもてなしブック（観光案内の虎の巻）の試行」「カフェオリジナルグッズの製作検討」「カフェ共通サインの製作検討」「カフェの目的と役割の検討（ルールづくり）」等を行った。今後の継続的な実施に向けた、活動資金の捻出と活動の裾野をいかに広げるかが課題である。

【日時】カフェは通年営業（一部冬期休業あり）、スタンプラリー実施（8/25-10/31）、カフェミーティングの実施（5/12 14:00-16:00、12/10 12:00-15:30）

【場所】シーニックカフェ（阿寒湖エリア：パン・デ・パン、ホテルレイクスパたかだ、弟子屈エリア：ホームスイートホーム、中標津エリア：カフェカイヨウダイ、ジェラートシレットコ）カフェミーティング（5/12釧路圏摩周観光文化センター、12/10中標津町経済センター）

【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ Clear Stream Scenic cafe推進プロジェクト、シーニックカフェ（パン・デ・パン、ホテルレイクスパたかだ、ホームスイートホーム、カフェカイヨウダイ、ジェラートシレットコ）

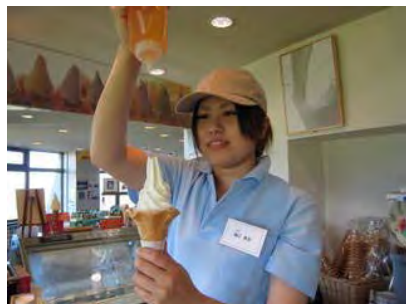
【協力】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 情報広報部会

【活動団体名】弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、ボランティアネットワークチャレンジ隊

【参加人数】30人 【来場人数】8400人（カフェ利用者総計）



ジェラートシレットコ



カフェカイヨウダイ



パン・デ・パン



シーニックカフェおもてなブック



カフェ共通のパンフレットラック



ホテルレイクスパたかだ



ホームスイートホーム



カフェミーティングの様子



スタンプラリーの様子



カフェマップ

ルートHPを活用した全国的一般ユーザーとの双方向交流

【概要】ルートで運営しているHPを活用し、全国的一般ユーザーとの双方向交流を図っている。情報を閲覧するだけでなく、交流が生まれるHPづくりをめざしている。31名の地域住民がライターとなり、それぞれが趣味や特技を活かした「旬の情報発信」を行っている（HPは、CGI形式を採用し、共同で更新できるシステム）。本年度はライターズミーティングを実施し、今後のHPづくりの方向性を検討した他、Yahoo!ブログ内にポータルブログを開設し、更なる全国的一般ユーザーとの交流を図った。（仕組みは下記概要を参照）、今後は、更なるライターの拡大とHPアクセス数増大に向けた検討を継続して行いたい。

【日時】通年（10月-1月ポータルブログによる試行実験、10/22ライターズミーティング）

【場所】<http://sbw.web-p.jp>、ライターズミーティング（10/22ニュー阿寒ホテル）

【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 情報広報部会

【活動団体名】ボランティアネットワークチャレンジ隊、NPO法人阿寒観光協会、クリーンウォーク実行委員会、（有）阿寒ネイチャーセンター 弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部

【協力】31名の地域住民（釧路湿原エリア12名・阿寒湖エリア6名・弟子屈エリア5名・中標津エリア8名）

【参加人数】31名 【来場者数】月平均6000アクセス

■31名の地域ライター（一部紹介）

釧路湿原エリア12名



阿寒湖エリア6名



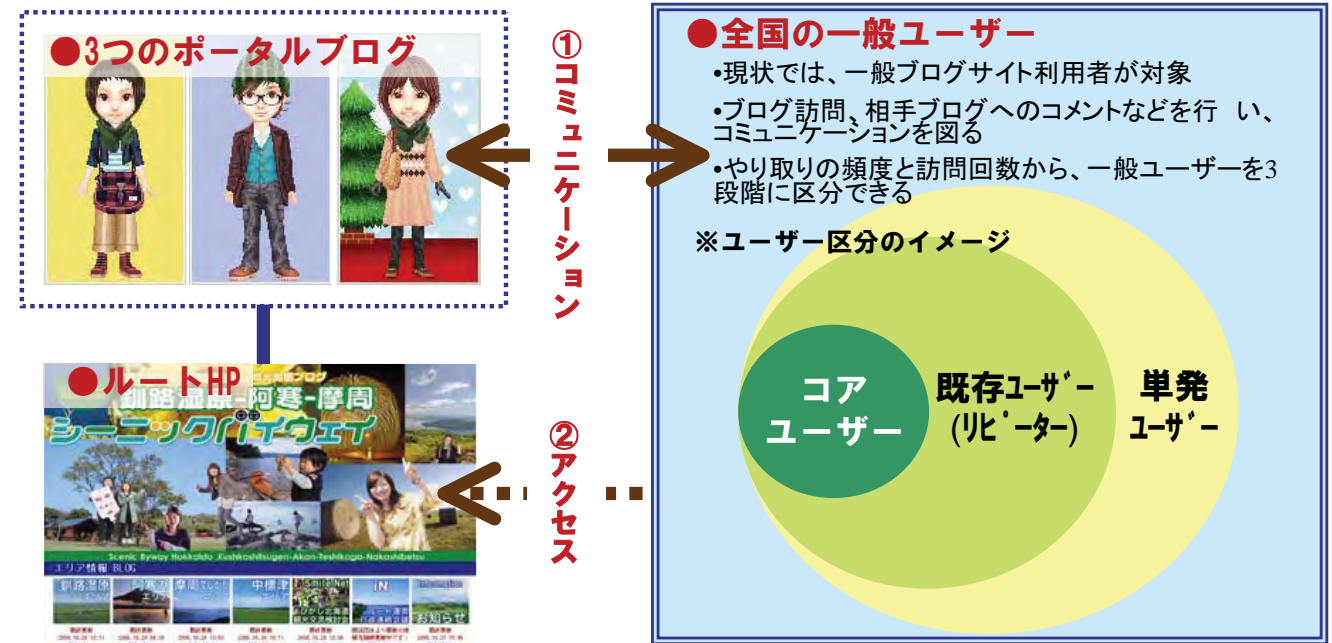
弟子屈エリア5名



中標津エリア8名



■取組みの概要（一般ブログを活用したオペレーションの仕組み）



道東ウォーキングツーリズム推進活動

【概要】ルート内および周辺地域を対象に、ウォーキング愛好家を中心とするツーリズムの推進に向け、昨年度より継続した活動を実施している。今年は、中標津町内を対象としたウォーキングルートづくり、全道ウォーキングルート調査、ウォーキングイベントの企画・試行、サイン等ルート整備に関する調査、フットパス先進事例調査、2度の検討会（議題は下記参照）等を行った。

【日時】ウォーキングイベントの企画・試行（6/22 7:00-12:00シーニッククリーンウォークウォーク）、フットパス先進事例調査（7/27 9:00-12:00北根室ランチウェイフットパスツアー、10/25 13:00-18:00根室フットパスワークキャンプ）、検討会（第1回 2/9 19:00-21:00、第2回 2/20 19:00-21:00）

【場所】中標津町内（シーニッククリーンウォーク・北根室ランチウェイフットパスツアー、検討会）、根室市（根室フットパスワークキャンプ）

【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 中標津エリア 【活動団体】中標津町商工会青年部

【協力】情報広報部会

【参加人数】15人 【来場者数】30人（シーニッククリーンウォーク参加者）

◆主な調査内容



◆主な検討内容

【議題】

- ・ウォーキングルートの選定
- ・マップ編集会議
- ・オリジナルサインの検討
- ・観光モデルコースの検証
- ・情報発信について



サイン(案)



釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃

- 【概要】ルート内4つのエリアで実施している、春の清掃活動を連携・協力しながら実施した。候補ルート時代から実施視し、本年度で4年目となる活動であり、毎年の恒例行事として定着しつつある。弟子屈エリアと中標津エリアでは、ウォーキングイベントと絡め、一般の方が参加しやすいよう工夫した。釧路湿原エリアでは、釧路湿原の木道清掃を音探検を絡めたイベントを実施したが、利用者のマナーがよく、ゴミは見当たらなかった。今後は、より一般の方が参加しやすい仕組みづくり、その他清掃活動との連携を検討していきたい。
- 【日時】阿寒湖エリア 幸運の森商店街清掃（4/24 9:00-12:00）、弟子屈エリア 摩周湖クリーンウォーク（6/7 9:00-12:00）、中標津エリア シーニッククリーンウォーク（6/22 7:00-12:00）、釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃（6/29 9:00-13:00）
- 【場所】阿寒湖エリア 幸運の森商店街、弟子屈エリア 国道241号、243号、391号を含む弟子屈町内の沿道、中標津エリア 中標津市街地～開陽台展望台までの沿道、釧路湿原エリア 釧路町達古武オートキャンプ場内木道
- 【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 景観まちづくり部会
- 【活動団体名】NPO法人阿寒観光協会、阿寒湖温泉連合町内会、（有）阿寒ネイチャーセンター、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町自治会連合会、中標津町商工会青年部、（社）中標津町青年会議所、株式会社日専連中標津 青年会、ボランティアネットワークチャレンジ隊
- 【協力】弟子屈町、中標津町商工会 【参加人数】50人（清掃活動ルート参加者）
- 【来場者数】阿寒湖エリア50名、弟子屈エリア200名、中標津エリア30名、釧路湿原エリア52名



阿寒湖エリア 幸運の森商店街清掃



弟子屈エリア 摩周湖クリーンウォーク



中標津エリア シーニッククリーンウォーク

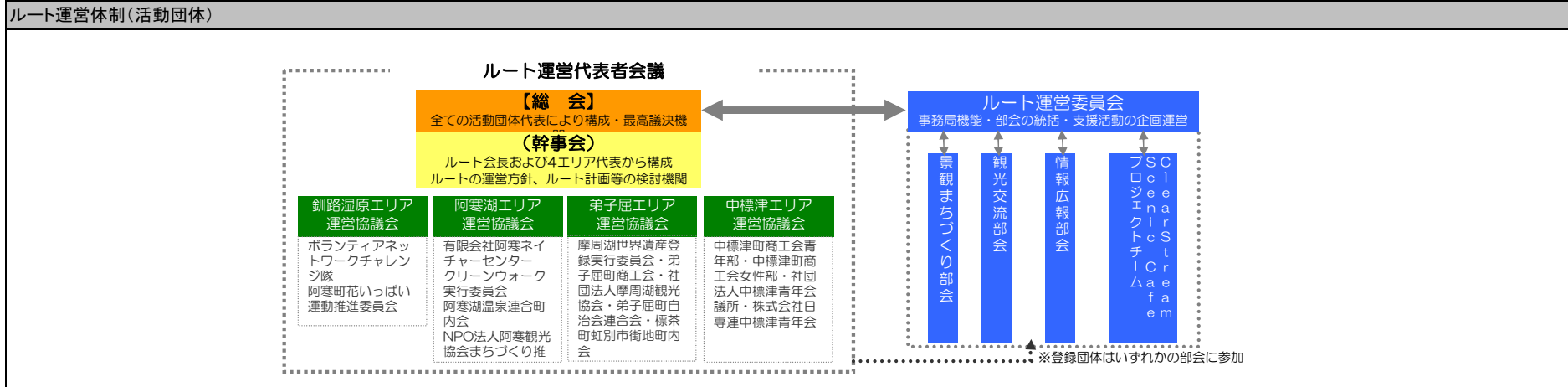


釧路湿原エリア 音探検&清掃

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: ルート運営代表者会議 会長 桐木茂雄	報告年月: 2009/3/31
-----------------------------	-------------------------	-----------------

<p>活動団体</p> <p>釧路湿原エリア: ボランティアネットワークチャレンジ隊・阿寒町花いっぱい運動推進委員会 阿寒湖エリア: NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、(有)阿寒ネイチャーセンター、クリーンウォーク実行委員会、阿寒湖温泉連合町内会 弟子屈エリア: 摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町商工会、(社)摩周湖観光協会、弟子屈町自治会連合会、標茶町虹別市街町内会 中標津エリア: 中標津町商工会青年部、(社)中標津青年会議所、株式会社 日専連中標津青年会、中標津町商工会 女性部</p> <p style="text-align: right;"><全15団体></p>
--



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議			●6/17 (総会)										年末と夏期の繁忙期を除き、コンスタントに幹事会・ルート運営委員会を開催した。また、実行委員会等も開催し、個別プロジェクトの推進を行った。次年度以降も継続した実施を行いたい。
幹事会・運営委員会	●4/16	●5/21						●11/10	●12/15			●3/10	
部会	●4/16 (3部会合同)	●5/21 (3部会合同)					●10/8 情報広報部会						
実行委員会等		○5/12 カフェミーティング					○10/22 ライターズミーティング		○12/10 カフェミーティング		○エリア検討会 2/12釧路湿原エリア 2/19弟子屈エリア 2/20阿寒湖エリア 2/9・2/20中標津エリア		

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2009/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実施			●6/17 (本会)										6月の本会のみの実施となった。次年度以降は、積極的な開催を行いたい。

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2009/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	平成20年度の活用内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
<p>1</p> <p>地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり</p> <p><知る・活かす></p>	<p>1) 自然を知る・活かす(自然・景観・産業)</p>	①まちを知る・人を知る	ルートHPを活用した全国の一般ユーザーとの双方向交流	通年	釧路開発建設部	・地域住民がライターとなり、情報発信しているHPIに釧路開発建設部の3名がライター登録して、旬な情報を提供した ・各行政機関担当者にライター登録をお願いし、旬な情報を提供できる体制づくりが必要である	・既存植樹活動、清掃活動、シーニックカフェルト連携実施におけるカフェミーティング等に参加した。次年度以降は、さらに各行政機関の取り組みと連携した活動を行っていききたい。	5
		②自然環境を知る・活かす	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃」	平成20年6月29日	釧路開発建設部	・釧路開発建設部から8名が参加し、参加者と積極的な情報交換、交流を行った ・家族連れでの参加もあり、子供と一緒に自然環境を学べる良い機会であった		6
			既存植樹活動への協力	平成20年5月17日、5月25日、5月28日	北海道、北海道森林管理局、中標津町、弟子屈町、釧路土木現業所、釧路開発建設部	・ルート内3エリアで実施された既存植樹活動への参加協力において、釧路開発建設部などが参加し、関係自治体と活動団体の情報交換を行った。		★2
		③景勝地や景観ポイントを見つける・活かす	弟子屈滝探検・摩周岳登山	平成20年10月11日、10月19日	釧路開発建設部	・新たなビューポイント発掘、地域の新たな魅力発掘のために実施された活動に、釧路開発建設部から2名が参加し、ビューポイント等に関する意見交換が行った		★8
		④温泉を知る・活かす	-	-	-	-	-	-
	⑤体験活動を知る・活かす	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃」	平成20年6月29日	釧路開発建設部	・釧路開発建設部から8名が参加し、参加者と積極的な情報交換、交流を行った ・家族連れでの参加もあり、子供と一緒に自然環境を学べる良い機会であった		6	

ルート(エリア)運営活動計画方針		ルート(エリア)運営活動計画活動内容	平成20年度の活用内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
2 個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり ＜整える・つなぐ＞	1)地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	①沿道景観を整える	標茶町花フェスタ2008	平成20年8月3日	標茶町	・標茶町役場と連携して、ルート運営代表者会議桐木会長がシーニックに関する講演を行った ・シーニックに関する交流だけでなく、花植えに関する意見交換も積極的に行われた ・今後も活動団体と連携した取り組みを行いたい			
		②物語のあるみちをつくる	-	-	-	-		-	
	2)観光客を受け入れる環境を整える	①おもてなしの質を整える	-	-	-	-		-	
		②既存施設の質を整える	シーニックカフェルート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	カフェ営業: 通年(一部冬期休業)、スタンプラリー実施: 8月25日-10月31日、カフェミーティング実施: 5月12日、12月10日	釧路開発建設部	・活動内で実施された、シーニックカフェスタンプミーティングに、釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った		1	
	3)地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	①地域の魅力(景観)をつないだ感動ドライブコースの提供	シーニックカフェルート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	カフェ営業: 通年(一部冬期休業)、スタンプラリー実施: 8月25日-10月31日、カフェミーティング実施: 5月12日、12月10日	釧路開発建設部	・活動内で実施された、シーニックカフェスタンプミーティングに、釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った		1	
			-	-	-	-			
		②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供	釧路湿原エリア検討会(モデルルート検討)	平成21年2月12日	釧路市、釧路開発建設部	・釧路市、釧路開発建設部が参加 ・釧路湿原エリア内での滞在ルートについて、活発な意見交換を行った		★13	
			弟子屈エリア検討会(モデルルート検討)	平成21年2月19日	釧路開発建設部	・釧路開発建設部が参加 ・釧路湿原エリア内での滞在ルートについて、活発な意見交換を行った		★14	

ルート(エリア)運営活動計画方針		ルート(エリア)運営活動計画活動内容	平成20年度の活用内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
2 個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり ＜整える・つなぐ＞	3)地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供	阿寒湖エリア検討会(モデルルート検討)	平成21年2月20日	釧路開発建設部	・釧路開発建設部が参加 ・阿寒湖エリア内での滞在ルートについて、活発な意見交換を行った		★15	
			中標津エリア検討会(モデルルート検討)	平成21年2月9日・20日	釧路開発建設部	・釧路開発建設部が参加 ・中標津エリア内での滞在ルートについて、活発な意見交換を行った		★16	
	4)各種情報を伝える・蓄える	①HP・各種広報誌等による情報提供	ルートHPを活用した全国の一般ユーザーとの双方向交流	通年	釧路開発建設部	・地域住民がライターとなり、情報発信しているHPIに釧路開発建設部の3名がライター登録して、旬な情報を提供した ・各行政機関担当者にライター登録をお願いし、旬な情報を提供できる体制づくりが必要である		5	
			魅力発見釧路観光情報センターへのパネル・パンフレットの展示	平成20年7月1日～7月31日	釧路市	・釧路市と連携して、制度説明パネルの展示とパンフレットの提供を行った ・今後もこのような機会においてのPRは、必要不可欠であり、実施していきたい			
			非诚勿扰口ケ地マップの企画製作	平成20年3月～	釧路市、釧路開発建設部	・釧路市、釧路開発建設部、東オホーツクシーニックバイエールートが連携を図り、企画制作を行っている。 ・非诚勿扰は、中国本土で大ヒットした正月映画であり、今後の観光客への情報提供を想定し企画を行っている。		★22	
			②観光案内施設等による情報提供	シーニックカフェルート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	カフェ営業:通年(一部冬期休業)、スタンプラリー実施:8月25日-10月31日、カフェミーティング実施:5月12日、12月10日	釧路開発建設部	・活動内で実施された、シーニックカフェスタンプミーティングに、釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った		
			③各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	ルートHPを活用した全国の一般ユーザーとの双方向交流	通年	釧路開発建設部	・地域住民がライターとなり、情報発信しているHPIに釧路開発建設部の3名がライター登録して、旬な情報を提供した ・各行政機関担当者にライター登録をお願いし、旬な情報を提供できる体制づくりが必要である		5

ルート(エリア)運営活動計画方針		ルート(エリア)運営活動計画活動内容	平成20年度の活用内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
3 地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり ＜創る・育てる＞	1)自然と共に生きる意識を育てる	①地域(子ども達)への環境教育	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃」	平成20年6月29日	釧路開発建設部	・釧路開発建設部から8名が参加し、参加者と積極的な情報交換、交流を行った ・家族連れでの参加もあり、子供と一緒に自然環境を学べる良い機会であった	・既存植樹活動、清掃活動。 シーニックカフェールート連携実施におけるカフェミーティング等の参加した ・次年度以降は、他の行政機関も参加しやすい仕組みを整えらるとともに、呼びかけなども積極的に行って行きたい。	6	
		②来訪者(観光客)へのインタープリテーション	-	-	-	-		-	
	2)自然を保全・活用する仕組みを創る	①自然を守るルールをつくる	-	-	-	-		-	-
		②自然を保護・育成する仕組みをつくる	既存植樹活動への協力	平成20年5月17日、5月25日、5月28日	北海道、北海道森林管理局、中標津町、弟子屈町、釧路土木現業所、釧路開発建設部	・ルート内3エリアで実施された既存植樹活動への参加協力において、釧路開発建設部などが参加し、関係自治体と活動団体の情報交換を行った。		★2	
	3)循環型社会のビジネスモデルを育てる	①コミュニティビジネスを育てる	シーニックカフェールート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	カフェ営業:通年(一部冬期休業)、スタンブラリー実施:8月25日-10月31日、カフェミーティング実施:5月12日、12月10日	釧路開発建設部	・活動内で実施された、シーニックカフェスタッフミーティングに、釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った		1	
		②地域経済循環の仕組みを創る	ルートHPを活用した全国の一般ユーザーとの双方向交流	通年	釧路開発建設部	・地域住民がライターとなり、情報発信しているHPIに釧路開発建設部の3名がライター登録して、旬な情報を提供した ・各行政機関担当者にライター登録をお願いし、旬な情報を提供できる体制づくりが必要である		5	
		シーニックカフェールート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	カフェ営業:通年(一部冬期休業)、スタンブラリー実施:8月25日-10月31日、カフェミーティング実施:5月12日、12月10日	釧路開発建設部	・活動内で実施された、シーニックカフェスタッフミーティングに、釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った	1			

※表中“★”はH20新規活動

5. 平成19年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックパイウェイ	報告者: ルート運営代表者会議 会長 桐木茂雄	報告年月: 2009/3/31
-----------------------------	-------------------------	-----------------

平成19年度活動報告への助言	平成20年度 状況報告	備考
<p>・地域へのルート活動の更なる浸透や、人材育成の取組の充実を期待する。</p>	<p>○地域へのルート活動の浸透について ルートHPでは、30名の地域住民がライターとなり、自分の職域や趣味を活かした情報を更新している。HP上で、全国の一般HPユーザー(閲覧者)との交流を生まれ、情報交換が行われていることから、微力ながら浸透されつつあると考えている。また、毎年実施している、釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃では、釧路湿原エリア・弟子屈エリア・中標津エリアでは、地域住民が参加しやすい様に、イベント的に清掃活動を実施し、地域住民への周知を兼ねた活動となっている。 だが、ルート活動の浸透は、まだまだであると実感している。次年度以降は、実績をつくり、地域住民の目に触れるように努力したい。</p> <p>○人材育成の取組について ルート内5店舗に設置しているシーニックカフェ(既存店舗を利用)では、定期的にシーニックカフェミーティングを開催し、ルート運営委員だけでなく、カフェで働く若手スタッフと一緒に、観光客に対するおもてなしについて、検討を続けている。本年度は、カフェスタッフの意見を反映させて、「シーニックおもてなしブック(観光案内の虎の巻)」の製作試行や景観に配慮したシーニックカフェオリジナルのサイン「花と緑のサイン」の製作検討、オリジナルグッズの製作検討、シーニックカフェスタンプラリーの実施、PRマップの発行などを行った。前述した、「シーニックおもてなしブック」は、観光客に対する案内向上の目的だけでなく、新人スタッフの教育にも活かされており、微力ながら、人材育成の取組みは行われていると感じる。</p>	

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックパイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2009/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

平成19年度活動報告への助言	平成20年度 状況報告	備考
<p>・地域へのルート活動の更なる浸透や、人材育成の取組の充実を期待する。</p>	<p>○地域へのルート活動の更なる浸透について 職員も地域住民としてルートHPのライターに登録し、様々な情報交換を行っている。また、ルート活動に参加し、常に新しい地域情報を把握し、新しいルート活動を検討している。 共通認識を持った取り組みを実施するために4市町村が合同で補助金申請を行い、地域が目指している物の共通認識を深め、連携できる体制を築いた。</p> <p>○人材育成の取組の充実について 異動等で人が変わるときに、新任者だけでなく、前任者も活動に引き込み、活動の継続性及び活動への理解度を深めている。</p>	